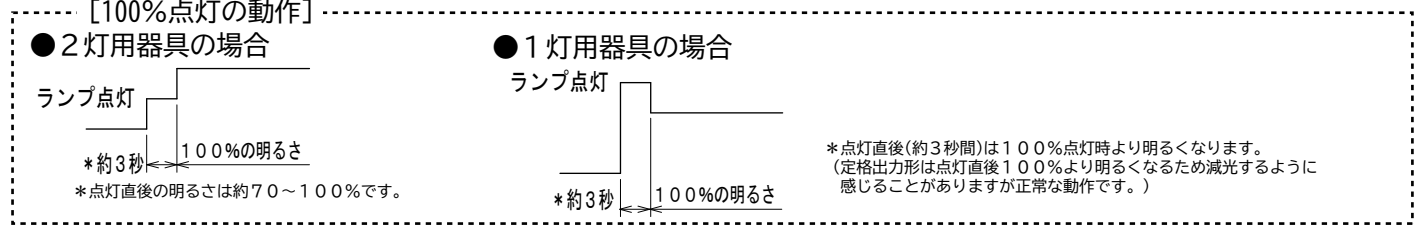


- リセット操作が完了しますと、点灯１３秒後に約７０％の明るさに変化します。
- リセット操作後、最初の点灯で前頁の図の様に明るさが変化しない場合は、リセットが正しく行われていません。再度リセット操作を行ってください。
- リセット後の動作では、約７０％の明るさに変化後１分間以上点灯させたままにしてください。（初期照度補正機能の累積点灯時間タイマーがスタートしません。）
- ２回目以降の点灯からは初期照度補正された明るさで点灯します。（２回目以降はリセット動作確認のための１００％点灯状態（１０秒間）の動作は無くなります。）

初期照度補正を解除する操作（１００％点灯にする場合）

- 電源ＯＮの状態から、１秒を目安に“ＯＦＦ→ＯＮ”の操作を６回繰り返す。６回目の電源ＯＮ状態で約３秒後に初期照度補正機能が解除されます。解除操作後、明るさが変化しない場合は、初期照度補正機能の解除が正しく行われていません。再度、解除操作を行ってください。
- 初期照度補正機能を解除した後に、上記の操作を行うと再度、初期照度補正機能に戻ります。この操作をすると、初期照度補正機能の累積点灯時間タイマーがリセットされますのでご注意ください。



- 初期照度補正機能解除操作またはランプ交換時のリセット操作を行ったときに、万一、同一スイッチ回路に接続された器具の初期照度補正と100%点灯の状態が混在した場合は次の操作をしてください。すべての器具の累積点灯時間タイマーがリセットされ、初期照度補正機能動作状態になります。〔電源ＯＮ状態から、電源ＯＦＦ（約１秒）→電源ＯＮ（約１秒）を１６回繰り返す〕

- ２灯用器具の場合、ランプは２本同時に新しいものと交換してください。（適正な照度を得られません）
- 器具、ランプの汚れに対する補正はできません。定期的に清掃をしてください。
- ホタルスイッチと組み合わせて使用すると、手動リセットが動作しない場合があります。ホタルスイッチは２ヶ所までとしてください。

お手入れ・ランプ交換（必ず電源を切ってから行ってください）

- ランプの口金付近が黒ずみますとランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、器具の寿命も低下させますので、新しいランプとお取り替えください。

- 

必ず守る

●ランプ・反射板（ルーバ）がほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

●お手入れなどでランプをはずす場合は、２ページ「取り付けかた」の逆の手順で行ってください。再度取り付ける場合は、「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。不備がありますと、落下してけが・ランプの破損の原因となります。

- 

禁止

●みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。またランプ・器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。

●点灯中や消灯直後は、ランプが高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。

- 

必ず守る

●本器具はハイルミックUVプレミアムランプ専用です。ランプ交換の際は、下記の適合ランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・感電・落下・器具の破損の原因となります。

適合ランプ

FHF32EX-N-VL	FHF32EX-D-VL
--------------	--------------



保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より１年間です。但し、電子安定器は３年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。
- この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

 **日立アプライアンス株式会社**

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

3-N6897-2(R0)

取扱説明書

保管用

（Hf）シリーズ・トラフ形、笠付形

	高出力形	定格出力形
トラフ形	HPM4105V-JU14	HPM4105V-J14
笠付形	HNK4105V-JU14 HNK4205V-JU14	HNK4105V-J14 HNK4205V-J14

- 電源電圧は100～242Vまで対応
- 初期照度補正形

日本国内用

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 

警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい、確実に行う。※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - 表示された電源電圧（定格電圧±６％）以外の電圧で使用しない。※火災・感電の原因となります。
 - 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。

- 

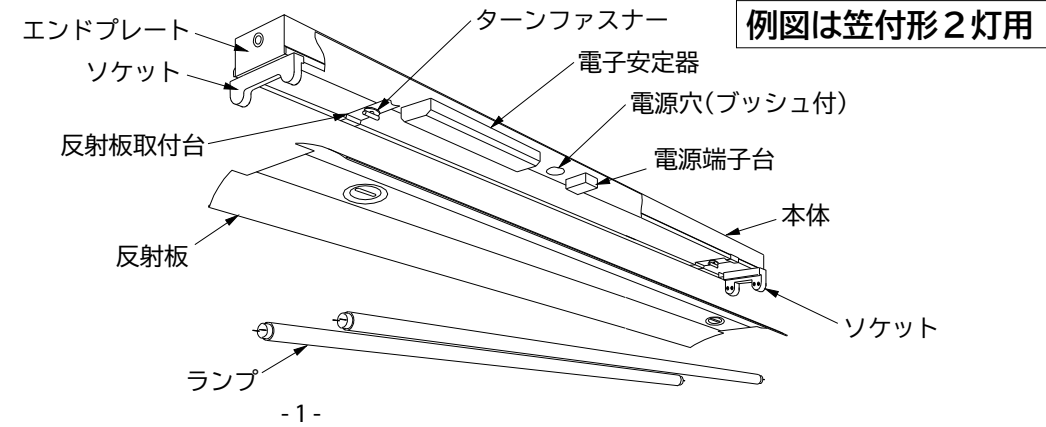
注意

- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - ランプに物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。※ランプの破損によりけがの原因となります。
 - 周囲温度は５～３５℃以外では使用しない。※火災、感電、不点灯、絶縁不良の原因となります。
 - 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。

- その他のご注意**

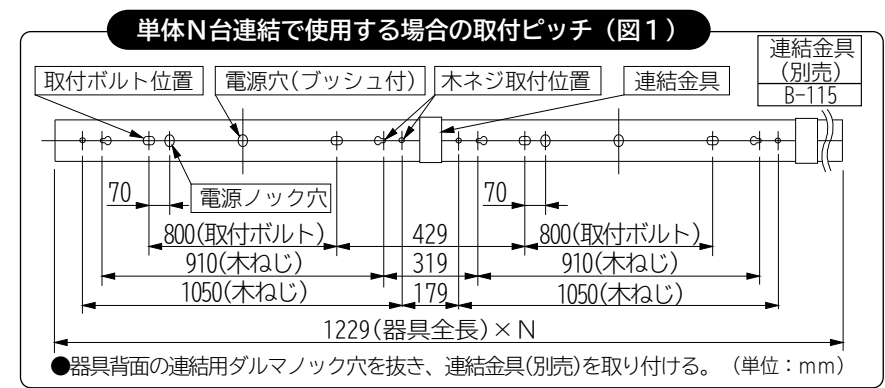
- ５００Ｖを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※保護機能が作動し不点灯の原因となります。
 - 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、器具の接続台数に注意する。不要動作を防止するため、感度電流30mAの高周波対応形漏電ブレーカーで１灯用の場合最大100台、２灯用の場合最大50台としてください。
 - ホタルスイッチと組み合わせて使用すると、手動リセットが動作しない場合があります。ホタルスイッチは２ヶ所までとしてください。

各部の名前



取り付けかた (図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です)

- 1 取付前に確認する。
- 取付ボルトまたは木ねじ取付部は、器具質量(表1)に十分耐える補強のある天井面に設ける。
 - 取付ボルトの出代は本体内30mm以下にする。(天井直付の場合)取付ボルトが出すぎると反射板が取り付けられなくなります。
 - 単体N台連結で使用する場合は、図1の取付ピッチを参照してください。



- 2 器具本体を取付ボルトまたは木ねじで天井面に確実に取り付ける。
- 電源線・アース線を本体中央の電源穴から引き込んでおく。他の電源穴から引き込む場合は、ブッシュを付けかえてください。
- (1)天井直付の場合
器具本体を背面取付穴により取付ボルトまたは木ねじで天井面に確実に取り付ける。(図1)
- (2)パイプ吊具またはチェーン吊具を使用する場合
吊具(別売)を使用する場合は、吊具の他にアダプター(別売)が必要です。(表2)
別途吊具・アダプターの取扱説明書を参照ください。

- 3 電源線・アース線を電源端子台に接続する。(図2)
- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。
 - 反射板で挟まないよう電線を処理する。
 - アース工事はD種接地工事を行う。
 - 電源線を解除する場合は、径または幅6mm以下のドライバーで解除部を押してははずす。アース線を解除する場合は、幅6mm以下のマイナスドライバーを解除用穴に挿入してははずす。

- 4 ソケットをエンドプレートに取り付ける。

- 5 反射板を確実に取り付け。(図3)

- 6 ランプを確実に取り付け。

ランプ取り付け時のご注意

- ソケットは回転式で、ランプを挿入後90度ごとに固定・解除となります。

注意 取り付けに不備があると落下によるけがの原因となります。

- 7 工事完了後にランプが正常に点灯するか確認する。

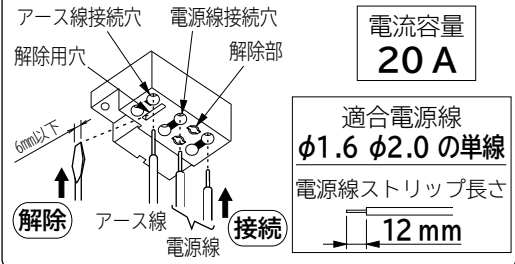
器具質量 (表1)

器具形式	灯数	器具質量
HNK4105V	1	1.8 kg
HNK4205V	2	2.1 kg
HPM4105V	1	1.5 kg

適合部品 (表2)

適合吊具(別売)	
パイプ吊具	チェーン吊具
JPN03WH	JCN03WH
JPN04WH	JCN04WH
吊具用アダプター(別売)	
JPA01WH	

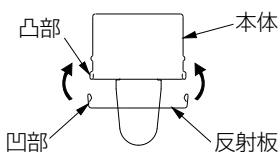
電源端子台の接続と解除 (図2)



反射板の取り付けかた (図3)

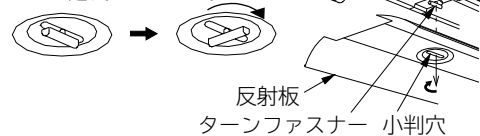
はめ込み方式(トラフ形)の場合

- 反射板を押し上げ、本体下側の凸部に反射板の凹部を確実にはめ込む。



ターンファスナー方式(笠付形)の場合

- 反射板の小判穴をターンファスナーに通す。
- 90°回転させ反射板を取り付ける。



お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)



警告

- 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行う。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。※火災の原因となります。
- 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしない。※火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。

ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。

初期照度補正機能付照明器具ご使用上の注意

初期照度補正機能とはランプ初期の余分な明るさを自動補正する機能です。一般的に新しいランプは設計照度より30%程明るくなります。初期照度補正機能とは、ランプ初期の余分な明るさを抑え、設計照度(ランプ初期時の約70%の光束)を保つように、器具ごとに明るさを自動補正する機能です。本器具には累積点灯時間を記憶するタイマーを内蔵しており、新しいランプに交換した場合は次の操作が必要となります。

- ランプを寿命末期まで使用の場合
寿命を検出し(間欠発振後、発振停止となります)、ランプを消灯して自動的にリセットします。ランプ交換後は、ランプの明るさが初期照度補正状態に戻ります。
- ランプを寿命末期前に交換する場合(手動でのリセット操作が必要です。)
ランプ寿命前に新しいランプと交換する場合には、自動リセットが動作しないため、手動でのリセット操作が必要となります。

個別にランプ交換を行う時のリセット操作(その器具だけをリセットする場合)

- ①電源OFFした後、古いランプを取り外す。ランプを取り外した状態で、電源ONにして5秒以降に次の操作をしてください。
- ②電源OFF(約1秒)→電源ON(約1秒)を3回繰り返す。
3回目の電源ON状態で5秒以上通電して下さい。約5秒後にリセットされます。
- ③電源OFFにして新しいランプを取り付けた後、電源ONにしてください。
初期照度補正された明るさで点灯します。(リセット後の動作は下図の通りです。)

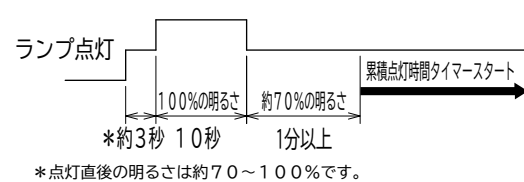
※個別にランプ交換を行う時のリセット操作を6回以上繰り返すと、同一スイッチ回路内のランプが接続された器具の初期照度補正機能が解除されますので、ご注意ください。

一斉にランプ交換を行う時のリセット操作(全ての器具を一斉にリセットする場合)

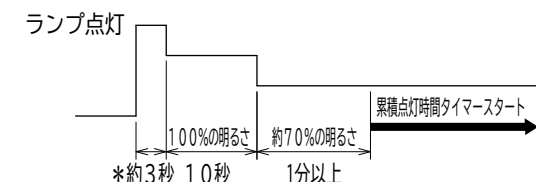
- ①電源OFFした後、新しいランプに交換する。ランプ交換後、電源ONにして5秒以降に次の操作をしてください。
- ②電源OFF(約1秒)→電源ON(約3秒)を6回繰り返す。6回目の電源ON状態で5秒以上通電して下さい。約5秒後にリセットされ、初期照度補正された明るさで点灯します。(リセット後の動作は下図の通りです。)

----- [リセット後の動作 (約13秒間は100%の明るさで点灯します)] -----

●2灯用器具の場合



●1灯用器具の場合



*点灯直後(約3秒間)は100%点灯時より明るくなります。
(定格出力形は点灯直後100%より明るくなるため2段階に減光するように感じることがありますが正常な動作です。)